

平成29年度 放課後等デイサービス「ぽしゅっと」評価表 結果報告 【事業所】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	対応・対策
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			○広さとしては十分な面積が確保されていると思います。 ○トイレが一つ、冷暖房が効きにくい等環境面での改善を今後考えていきたいです。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		○職員の確保が数年来の課題となっています。(求人募集をしても応募がない) ○職員の確保ができない状況のため、新規の児童の受入れができない、お休みの協力をさせていただく等のご迷惑をお掛けしている状況です。 ○1.5人：1人という人員体制が整うよう引き続き求人募集を最優先課題とします。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	○施設設備面は全くバリアフリー化されていません。 ○玄関までのバリアフリー化が敷地が分割されている等難しい課題がありますが、方法を考えていきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか。		○		○今回初めてアンケートを実施。集計したものを全職員で共有し業務の振り返りを行いました。 ○保護者向け事業所向けアンケートは両者ともその中身を当事業所にあった内容に変えていく必要があると思います。
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		○		○今後実施予定(2018年2月中)
	⑦ 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	○現在の評価機関は法人の監事であり、完全なる外部組織ではありません。 ○外部の第三者評価については、費用面を鑑みて今後実施するか否かは検討させていただきます。
	⑧ 職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			○研修の紹介や費用の負担等を実施しています。また、研修に参加した職員が職員会議等でその内容等を報告し職員全体で共有しています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	○			○面談や日常的なコミュニケーションでニーズの把握を実施。 ○すべての子どもの現在の状況やそこに至るまでの変化等を全職員で共有し検討をしています。 ○それらの情報を元に計画の作成をしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		○枠にハマった子を育てることを目的としていないため、既定のアセスメント項目等で子どもを見ることで固定的な見方にならないよう標準化されたものは使用していません。個々の課題が一つずつどのようなものなのかを観察と関わりの中から見出しその改善をし本人が適応行動の必要性を見いだせるよう支援をしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			○日々変化する子どもたちの状況に応じて、担当する子が楽しい放課後を過ごせるよう、担当する子の側面から対案をし日々の活動内容を作っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			○大まかな流れはありますが、同じ活動でもひとり一人の状況や課題に応じて内容が変化しています。 ○子どもの声を聞き、大まかな流れを変更し新たな流れに変更することもあります。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			○原則的に平日は、学校での頑張りを事業所の活動でリセットして帰宅する。長期休暇は活動時間が長くなるのでより生活にそくした課題への取り組み等をすべての子が取り組む課題にしています。 ○それ以外にも必要に応じて個別に重点項目を置き支援を行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	○			○個別での支援が必要な場合には個別の対応を。集団の中で個別の対応が必要な場合は集団の中で個別の対応を計画に入れています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確	○			○毎日実施しています。

		認しているか				
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	○		○送迎に出ている職員がいない状況もありますが、職員間でその日の振り返りとして支援内容の整合性やその子の事実からの見立てがどのようなものがあるのかを共有しています。 ○毎日、引き継ぎ用紙にその日の活動内容や体調面、学校や家庭からの引き継ぎ内容、特記事項等を記入し、お休みの職員でも共有できるようにしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証改善につなげているか	○		○新人職員に対して書き方や書く内容の指導し一定のスキルが身につくまでフォローします。 ○課題が見つかったとその解決のために記録を読み直す等を行います。必要に応じて実践レポート等を作成し長期スパンでの子どもの変化をまとめ支援内容が正しかったのかどうかを検証します。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しているか	○		○全職員参加の職員会議の中で、現状の確認と課題の見直し具体的な支援内容の共有をしています。 ○全員の子どもについて順番に実施しているため3ヶ月に1度程度の頻度で全職員で行います。	
関係機関や保護者との連携関係	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		○児童発達支援管理責任者が出席をしています。 ○必要に応じて事業所内でその子を担当する機会が多い職員から状況の詳細を確認し会議に出向きます。	
	⑳	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか		○	○学校の情報は保護者を通して教えてもらう形をとっています。 ○必要に応じて下校時等に学校と情報共有を行っています。 ○学校の先生が時間が空くときには事業所に子どもがいる状況で、正式な場を設定しての情報交換がなかなかできない状況にあります。	
	㉑	就学前に利用していた保育所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	○これまで行ったことはありませんが、今後必要な場合において実施します。
	㉒	学校を卒業し福祉サービス事業所へ移行する場合、支援内容の情報を提供する等しているか			○	○これまで行ったことはありませんが、今後必要な場合において実施します。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか			○	○専門家による助言等がある研修会等で事例検討を行う等は実施しています。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか			○	○設定的な交流会は実施していませんが、日常的に公園等で地域の子たちと一緒に遊ぶ等の機会があります。
	㉕	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			○自立支援協議会子ども部会に以前は属していましたが、会議の時間帯が活動時間中でなかなか出席できず、現在は属していませんが、市内事業所連絡会に属し、そこが子ども部会と連携をしています。 ○他には埼玉放課後連、全国放課後連、障害児学童ブロック等に属しています。
	㉖	日頃から子どもの情報を伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	○保護者の評価では高い評価を頂きましたが、日々の子どもの面白さや魅力的なことをもっと伝えたいと思っています。
保護者への説明責任	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		○契約時に伝えています。 ○変更箇所が出た際には面談等で伝えています。	
	㉘	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか			○	○助言が必要とは考えていません。保護者の皆さんに乗り越える力があると思います。そのために保護者の方が悩みや相談を話しやすい事業所や職員であることは大事であると考えています。が、現状ではコミュニケーションの時間がしっかり確保できているとは言い難いです。意識していきたいです。もっと気軽に何でもしゃべれる事業所を目指したいです。
	㉙	父母会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか			○	○保護者会活動が休止して、保護者同士の接点が以前より減っているように感じています。 ○卒業生の保護者との交流会を希望していただいておりますが、なかなか実現していません。 ○親子で参加する行事や幅の広い保護者の集まりを次年度は実施したいです。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情			○	○苦情窓口が内部外部に設置してありますが、これまで一度も苦情を受け付けたことがありません。

	があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				○苦情窓口申し出るのは保護者の方にとっても勇気のいることだと思います。日常的なコミュニケーションの中で不満や希望を聞き取れる様努力します。
	③1 定期的に会報を発行し活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		○外部の方向けの広報やブログ等で活動の発信はしていますが、内部向けのおたよりが止まっている状況です。目処が立ち次第再開したいと思っています。 ○“食”に重きを置いているため、毎月のおやつ表は作成し配布しています。
	③2 個人情報に十分に注意しているか	○			○快く写真の使用等を許可してくれる家庭が多く助かっています。
	③3 障害のある子や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		○しているつもりですが、個々の状況に応じてもっと丁寧な関わりができると考えています。
	③4 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営をしているか	○			○行事に招待する事はありませんが、近隣の皆さんに広報を配っています。 ○子どもたちも日常にごあいさつ等で関わりを持っています。
非常時の対応	③5 緊急時対応マニュアル等を策定し職員保護者に周知しているか		○		○各種マニュアルはありますが、作成時以降見直し等は行っていません。定期的な見直しを実施したいです。
	③6 非常災害時に備え定期的に避難訓練を行っているか		○		○通報訓練の実施ができていません。 ○次年度は通報訓練を実施します。
	③7 虐待を防止するために職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか		○		○こういったことが虐待にあたるかは日常的に共有をしています。 ○研修は日程がなかなか合わず参加できていません。
	③8 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載しているか			○	○現在身体拘束の可能性のある子がいません。 ○以前あった場合でも計画に記載してはいませんでした。再度すべての子の状況を見直し、記載が必要と思われる場合は次回計画より記載をしていきます。
	③9 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか			○	○保護者の指示に基づいています。 ○今後医師の指示書を要請していきたいです。
	④0 ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			○事例を作成し新規事例が出た場合は、職員会議で共有しています。

【実施方法】

○対象者：全職員

○検討日：平成30年1月30日

○検討会議：職員会議にて